

鎌倉仏教と専修念仏

たいら まさゆき

平 雅行 著 ▼A5判・上製カバ―装・五二九頁 本体 九、〇〇〇円十税

2017年6月刊行



顕密体制論が登場してから四十年以上が経過した今、顕密体制論は何を提起し、どのような達成があり、何が課題として残されているのか。顕密体制論の立場から鎌倉仏教と専修念仏の歴史を読み解き、その意味を問う。

【目次】

序 章	顕密体制論の方法とその課題
第一部	顕密体制論をめぐる
第一章	黒田俊雄氏と顕密体制論
第二章	王法と仏法
第三章	鎌倉新仏教論と官僧
第四章	仏教思想史研究と顕密体制論
第五章	新仏教と顕密体制論
第六章	中世成立期の王権と宗教
第七章	顕密体制論における聖をめぐる
第二部	専修念仏をめぐる
第八章	善鸞義絶状と偽作説
第九章	親鸞の配流と奏状
第十章	建永の法難の史料学
第十一章	建永の法難と九条兼実
第十二章	専修念仏の弾圧原因をめぐる
第十三章	法然教団と専修念仏の弾圧
結び	鎌倉仏教の成立と展開
初出一覧	
あとがき	
索引	

■著者紹介

一九五一年大阪市に生まれる。一九七五年京都大学文学部史学科卒業。一九八一年京都大学大学院博士後期課程研究指導認定退学。一九八四年京都橘女子大学文学部助教授、一九八六年関西大学文学部助教授、一九八九年大阪大学文学部助教授、一九九六年同教授、二〇一五年同名教授、京都学園大学人文学部教授、二〇一七年同特任教授、現在に至る。

主な著書に、『日本中世の社会と仏教』（塙書房、一九九二年）、「親鸞とその時代」（法藏館、二〇〇一年）、「歴史のなかに見る親鸞」（法藏館、二〇一一年）。主な論文に、「中世仏教における呪術性と合理性」（『国立歴史民俗博物館研究報告』157、二〇一〇年）、「中世宗教の成立と社会」（『宗教社会史』山川出版社、二〇一二年）、「日本中世における在俗出家について」（『大阪大学大学院文学研究科紀要』55、二〇一五年）、「熱田大宮司家の寛伝僧都と源頼朝」（『京都学園大学 人間文化研究』38、二〇一七年）など多数。

■好評既刊

- 『親鸞とその時代』 平 雅行 著
四六判上製・二二〇頁 本体一、八〇〇円十税
- 『歴史のなかに見る親鸞』 平 雅行 著
四六判上製・二二七頁 本体一、九〇〇円十税

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
平 雅行 著	法藏館
鎌倉仏教と専修念仏	本体九、〇〇〇円十税
ISBN : 978-4-8318-6246-4 C3021	住所
お名前	お電話

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

日本史 ・ 仏教史